

香川県プランクトン情報（第 14 報）

令和 8 年 7 月 13 日発行

シャットネラ・アンティカおよびマリーナが増加しており、小豆島北部や備讃瀬戸東部海域では、警報基準を超えて発生しています（最高は虻崎 0m の 2 種合計で 97 細胞／ml）。

シャットネラが多い海域では、キートセロス属珪藻や渦鞭毛藻のケラチウム・フルカも多くみられました。

有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ 2 種合計値	シャットネラ・ オパータ	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	シュードシャットネ ラ・ベルキュローサ	シャットネラ・ グロボーサ
虻崎	0	77	20	97	0	0	8	0	0
	10	53	6	59	0	0	0	0	0
千振	0	27	3	30	0	0	0	0	0
	10	18	2	20	0	0	3	0	0
妙見	0	18	0	18	0	0	0	0	0
	10	24	4	28	0	0	0	0	0
K1	0	14	0	14	0	0	0	0	0
	5	7	0	7	0	0	0	0	0
	10	1	0	1	0	0	4	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	3	2	5	0	0	0	0	0
	B-1	1	0	1	0	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	41	1	42	0	0	0	0	0
	5	19	2	21	0	0	0	0	0
	10	2	0	2	0	0	0	0	0
	B-1	2	1	3	0	0	0	0	0
SH	0	27	2	29	0	0	0	0	0
	10	8	4	12	0	0	0	0	0
観音崎	0	7	0	7	0	0	0	0	0
	10	17	0	17	0	0	0	0	0

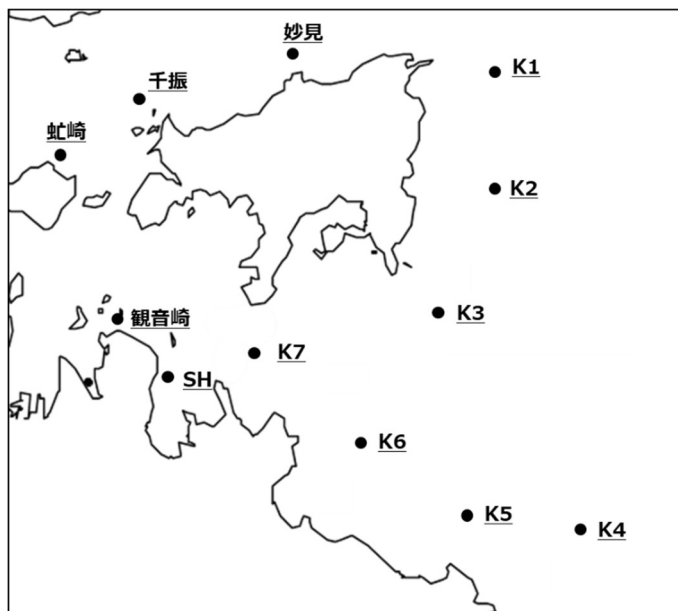
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課豊かな海づくり・漁港整備グループ(担当:澤田・秋山) 電話 087-832-3474

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は 7 定点(K1～7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合等、状況に応じて 5 定点(虻崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (2 種の合計値)	10 細胞/mL (2 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ	1 細胞/mL	10 細胞/mL
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	－	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	－	50 細胞/mL